



日本スポーツ少年団・ドイツスポーツユーгент



第35回日独スポーツ少年団同時交流

ドイツスポーツユーгентの9名が、7月25日〜30日にかけて藤里町を訪れました。今回は、藤里町が東北ブロックの最初の受入市町村として一団を迎え、滞在中は9世帯のホストファミリー宅での民泊と、ぶなっこ教室へ宿泊しながら様々な交流体験をしました。

25日に藤里入りした一行は、ゆとりあ藤里で行われた歓迎パーティに出席し、民泊体験先のホストファミリーと共に、上若による獅子踊りと、駒踊りを鑑賞・体験しました。

2日目の26日は藤里小学校の相撲部を訪れ、男女共にまわしを身に着けて、四股やすり足等の基本動作を学び、児童達との取組では、力の入った大一番に大満足の様子でした。その後、坊中体育館で高山太鼓を体験し、リズム感の良さに指導者を驚かせていました。

27日には岳岱自然観察教育林を散策。28日は地元高校生とスポーツ交流・デイスカッションを行い、予定時間を過ぎる程の熱心な意見交換となり、お互いの文化の違いに理解を深めていました。

29日はきりたんぼ作りを体験し、さよならパーティでは、練習した高山太鼓をホストファミリーに披露し、喝采を受けていました。

30日の朝にスタッフとホストファミリーに見送られ、別れを惜しみながら藤里町を後にし、次の交流先である岩手県へ出発しました。



小学生のパワーにたじたじ



ラストサムライ！？



たくさんのお土産をいただきました



これ、どうかな？



真剣に指導を受けています



川遊びでの一幕



お世話になった方々と



スポーツ交流で打ち解けました